

2023年度派遣

派遣先：オークランド（ニュージーランド）

始めに

皆さん。何気ない日々をのうのうと生きていませんか？何か物足りない感覚に苛まれることはありませんか？こんなじぶんでいいのかな…悩める学生もいるかと思います。せっかくの大学生活、新しいことに挑戦してみてはいかがでしょうか。

留学しようと思った背景

簡単に留学しようと思い立った背景について触れます。私は大学生活において「挑戦」することを大切にしています。というのも、挑戦することなく特定のコミュニティの中に留まり、学生生活を終えてしまうことに焦燥感を感じずにはいられないからです。世界で刻一刻とグローバル化が進展している昨今の情勢下、国際語である英語を思い通りに扱うこともできず、日本という一国の島国としての価値観しか持ち合わせていない現状に、グローバル社会に生きる1人の人間としての自覚や責任が足りないと感じていました。そこで、英語は大の苦手だったのですが、英語を用いて多種多様な価値観に触れることを目的に留学をしようと思い立ちました。

学校生活について

堅苦しいプログラム内容とかは資料に書いてあると思うので、私からは渡航前と後でギャップに感じたことなどについてフランクに紹介していこうと思います。

① 校舎について

私は当時、オークランド大学という名前からも、現地の学生が通っている大学のキャンパスで学ぶことになるのかなーと漠然に想像を膨らませていたのですが、実際私たちが授業を受ける校舎はオークランド大学の主要キャンパスから離れたオフィスのようなところでした。（日本の予備校に近いと思う。）

② 学生の国籍比率について

ここも留意しておいてほしいのですが、最初の1か月間程は私たちが学ぶ校舎の学生の9割近くが日本人でした。（夏休みの1か月間だけの留学をしている）1か月過ぎたあたりで日本人の学生が帰国していったグローバルな環境になっていきます。

学校生活でギャップに感じたのはそれくらいです。1か月に1回ほどはクラス分けのテストを行い、毎週末にはロールプレイ、プレゼンテーション、ディベート、インタビュー、面接、コメディ劇などのアクティブラーニングを取り入れていました。これを英語でやると聞くとハードルが高く感じてしまうかもしれませんが、実際は全くそんなことはありません。教鞭をとってくださる先生の技量が非常に高く、そこには物怖じせず挑戦することのできる環境が整えられていました。総じてELAの先生方はフレンドリーで、英語を退屈することなく教えるプロフェッショナルでした。クラスメイトは全員私よりも英語に長けていたので、英語を学習するにはこの上ない環境でした。

+α伝えたいことがあるとすれば、息抜きする環境が整えられている点です。コーヒーなどを無料で飲むことができたし、卓球台などもあり、休み時間には決まってクラスメイトと卓球をしていました。お陰様で今では

卓球部より卓球が上手くなってしまいました。

日常生活について

基本的には放課後も休みの日もクラスメイトとスポーツをしたり、観光スポット巡りをして過ごしていました。また、ニュージーランド留学の魅力の1つに、約4か月の留学期間であっても主要観光スポットを観光し尽くすことができる点が挙げられます。国土面積が比較的小さいのに加えて、主要都市以外はほとんど何も自然が広がっているので、観光スポット巡りをしたい人は、能動的に動けば留学期間中にひと通り観光することができますし、至る所に広大な自然が広がってことから、大自然を満喫したい人にもピッタリな渡航先だと思います。こういった体験記では「誰と何処で何をしたか」の「何処で何をしたのか」についてフォーカスが当てられるのが定石かと思いますが、私の場合は「誰と」の部分で得られたものが果てしなく大きかったです。現地で仲良くなった学生たちとは今でもコンスタントに連絡を取り合っていますし、国を越えての交流も行っています。もちろん「何処で何をしたのか」の部分についても非常に貴重な経験をすることができたので、写真を張り付けておきます。

伝えたいこと・アドバイス

① 防寒対策

現地、私の主観ですが思った以上に寒いです。夏に差し掛かっていくと聞いていたので半袖を持って行っていたのですがいらないです。1回も着ませんでした。本当に防寒対策は徹底するべきです。私の場合、ホストファミリーの私の部屋に暖房が無かったので、現地到着初日から寒すぎて一人でワンツリーヒルという丘なのか山なのかよく分からないところの頂きまで登り詰めました。数日間寒すぎて全く学業に集中できなかったの皆さん気を付けてください。（後日床暖房を出してもらいました。）



↑

留学初日にワンツリーヒルの頂上に登った時の写真です。どこか不安そうですね（笑）。ちなみにこの時めちゃくちゃ寒いです。

② ピザ

中長期の海外への留学となると、経済面の懸念が浮かび上がってくるかと思います。当然、現地の物価は日本よりも高いですし、経済的な側面において逼迫していきます。そこで私が伝えたいのはピザです！どゆこと？と思うかもしれませんが、実際ピザだけは日本より現地の方が圧倒的に安いのですし若干大きいです。懐に余裕が無くなってきたらピザ屋に通い詰めましょう。ただし、自身の将来の健康も考えて食べるものは選択していきましょう。

③ レモネードアップル

ニュージーランドと言ったらレモネードアップルです！！これまた何のことと疑問に思うところでしょうが、実際私にとっては、ニュージーランドと言ったらレモネードアップルだったのです。どういうことかという、私がニュージーランドに渡航して一番おいしかった食べ物が、名物であるクッキーや、レストランでの食事ではなく、地元のスーパーに売られていたレモネードアップルだったのです。味は文字通りレモンとリンゴが合わさったような感じです。写真を載せようと思っていたのですが、おいしすぎて写真を撮り忘れていたことを忘れていました。ですので、是非実際に現地で食べてみてください。

④ 英語学習

ここからは真面目に。私が皆さんに強調しておきたいのはやはり渡航前の英語学習です。渡航前にどれだけ英語に対して前向きに取り組んできたか、どれだけ英語を使いこなすことができていたかが留学をより一層質の高い留学経験にすることができるか否かにつながってきます。私の場合、正直留学期間中は楽しく遊んでいた記憶しかないですし、英語の学習を目的に留学は行っていませんでした。英語はあくまでもコミュニケーションを取るためのツールです。英語の上達だけを考えて会話をしてくるクラスメイトとお友達になりたいと思えるでしょうか。もしかしたらこちらが英語の学習だけを考えて相手と接していても、相手はこちらの国の文化や価値観を知りたくてコミュニケーションを図っているかもしれません。会話の目的に相違が生じています。このようななかで深い関係を築くことができるでしょうか。私は難しいと考えます。そのため、できる限り渡航前には英語を上達させておくべきだと私は考えています。深い関係を築くことができれば、長期的な関係になることができる、深い異文化交流をすることができるようになる、そのプロセスの中で生きた、リアルな英語に慣れることができる。といった理想的なサイクルを生み出すことができると考えています。私は渡航前にずっと英語の学習に努めていたので、今振り返ってみると、質の高い留学を経験することができたのは、そういった過去の自分の行いのおかげだと実感しています。



最後に

伝えたいことであったり、私が体験してきたことはかなり濃密に書かせていただいたかなと思います。その中で重複しますが、留学を良いものにするのも、物足りないものにするのも当人次第だと思います。実際に留学を体験してみて、本当に留学へ行っても何も得られるものが無かった人もいるでしょうし、最高の経験だったと胸を張って言うことができる人もいるなと感じました。渡航する前から留学は始まっています。今できることに全力で取り組んでいきましょう！！皆さんの留学が最高なものになることを願っています！！



SA体験記②

2024年度派遣

派遣先：オークランド（ニュージーランド）

まず初めに、私が留学しようと思った背景についてお話したいと思います。色々と細かい理由はありますが、総じていうと、「自分に自信を持ちたかった。」からです。私は、これまで自分で大きな選択をしたことがなく、高校は母に勧められ、法政大学の附属高校に入学し、そのまま法政大学へ進学しました。キャリアデザイン学部には、好奇心旺盛でキラキラしたような人ばかりであり、そんな中で挑戦もせず、目の前のことだけ淡々とこなす自分を見ては、なんだか自信がなくなっていました。もちろん、そのようなキラキラした人たちになることが正解だとは私も思ってません。でも、そういった人たちのように、挑戦し、自分の知らない自分に気づいて、自分を好きになっていきたい、と思い、留学を決意しました。

勇気を出して留学を決意し、ドキドキや不安がある皆さんに向けて、少しでも役に立てるようなお話ができたらいいなと思っています。

ホームステイ先について

自分の家以外の場所で、初めての人たちと暮らすことは、誰でも少し不安を感じると思います。

私の場合、これまで、10人ほどの日本人や韓国人を受け入れたことがあったためか、ホストファミリーはとても温かく迎えてくれて、快適に過ごすことができました。例えば、ご飯は自分のペースで調整できたり、ヒーターやシャワーも気兼ねなく使えたり、旅行に連れて行ってもらえたりしました。何より、私の話をじっくり聞いてくれたり、会話の時にはテレビの音を消してくれるなど、細やかな配慮が嬉しかったです。犬と猫もいて、慣れない海外生活の中でとても癒されました。

一方で、ホームステイの形は家庭によって本当にさまざまです。食事のスタイルや過ごし方に違いがあるのは当然のことで、最初は戸惑うこともあるかもしれません。でも、それも含めて異文化体験の一部です。自分なりに工夫したり、素直にリクエストを伝えたりすることで、少しずつ居心地のよい関係を築いていけます。そして何より大切なのは「感謝の気持ちを伝えること」だと思います。私たち留学生を家族の一員として迎え入れてくれるホストファミリーに、ありがとうを言葉や行動で示すことが、良い関係を作る一番の近道でした。やってもらうこと1つ1つにしっかりと言葉や行動で感謝を示すことが、とても重要です。そういった感謝の積み重ねをすることで、相手側も「受け入れて良かった」と思ってくれるかもしれませんし、少しずつですが距離も縮まっていきます。実際に私は、オークランドに来て1ヶ月ごとにホストファミリーにお花やワインなどのプレゼントをして感謝の気持ちを伝えていました。クイーンズタウンに旅行に行った際は、お土産を買って帰るということもしました。留学中は色々なことにお金がかかってしましますが、そういった部分にもお金を割くことで、より過ごしやすい環境へと変わることもあるので、ぜひ実践してみてください。そして、自分1人じゃ解決できないことは、抱え込まずにしっかりと現地の学校の先生に相談してください。必ず助けになってくれます。



学校生活について

授業内容に関しては文法をしっかりと学んできた方にとっては、簡単すぎると思います。日本で学んできたことを、海外でやっているだけだと私は思いました。最初の4週間は、自分に合ったレベルのクラスではないことに葛藤を覚えていましたが、何を学んでいるかよりも、「誰と学んでいる」「学んでいることをアウトプットできているか」ということに視点を変えた時に、クラスのレベルは重要ではないことに気づきました。それから必ず、日本人以外の子がいる席に座り、学びながらその場でアウトプットすることを意識したら、授業が一段と楽しく感じられるようになりました。しかし段々と物足りなくなってきたため、上のクラスを目指し、無事に上がることができました。（法政の学生は5人とも同時に Upper クラスへ上がりました！）その前のクラスと比べ、授業の難易度もスピード感も上がりましたが、その分集中力が高まり、日本人の比率が下がったことも相まって、より充実した学校生活へ変わったと感じています。

「日本人はどのくらいいるの？」と思う人がいると思うのですが、答えは 8.9 割が日本人です。なので、初日はとてもショックを受けたのを覚えています。（笑）

真剣に英語を学びたいのなら、日本人で集まることは避けて、積極的に日本人以外の子に話しかけるべきだと思います。たとえ日本人の子でも、学ぶことに積極的な子と友達になることをお勧めします！



日常生活について

学校以外でどんなことをして過ごしていたかについてお話ししたいと思います。

基本的に学校はお昼までだったので、初めの頃はお昼ご飯を外で食べていました。外食は安くても日本円で

1500 円程かかるので、次第にスーパーで食材を調達してサンドイッチなどを作り、学校のラウンジで食べることが多くなりました。（個人的にスーパーは楽しかったです！笑）午後は、学校が開催してアクティビティに参加して、友達作りに励んでました。特に最初は積極的に参加することを強くお勧めします！友達が作れるのはもちろんのこと、知らないことなかりなのでアクティビティを通して新しい場所や事を知れるのは、とても楽しいです！学校が終わってすぐに家に帰ることはほとんどなかったのですが、帰る時は、復習と予習を念入りに行ったり、洋画を見たりしていました。

休日は、洗濯と部屋の掃除をまず真っ先にしていました。これはホストファミリーによって違うと思うので、なんとも言えないのですが、私は自由に洗濯機と乾燥機を使えたので、毎週土曜日に1週間分の洗濯をしていました。休日はお昼ご飯も出るので、午前中は家でやるべきことをしたり、英語の勉強をしたりして、午後は友人とお出かけして、夜ご飯までに帰ってくるということが多かったですが、でも新鮮なことばかりなので、毎週土日はどこかしらに出かけてました！焦らずとも行きたいところには行けると思います！

個人的なお勧めは、休日の朝から午後14時、15時までやってるマーケットに行くことです。これは日本じゃなかなか体験できないことなので、やるべきです。1日のQOLが爆上がりします。（笑）

ちなみにスケジュールはこんな感じです。

【平日】

①午前授業

- 5:50 起床（6:00 からホストファミリーが使うので、洗顔を済ませるため早起き）
- 7:00 出発（朝ごはんはちゃんと食べていきますが、学校で食べている人もいます）
- 7:50 学校着
- 8:15 授業開始
- 12:30 授業終了
- 12:30~ 学校のラウンジでご飯を食べるか or 外食
お昼ご飯の後は、学校でおしゃべり、カフェに行く、お買い物をする
アクティビティに参加するなど
- 17:00 帰宅（私のホームステイ先は 17:30~18:30 に夕食でした）
- 18:00~ 夕食（金土を除いて、私のホームステイ先では 20:00 頃に皆就寝だったので、それまではテレビタイム）
ホストファミリーが寝る前に、どこかのタイミングでシャワーを済ませてました
- 20:00 部屋でダラダラ
- 22:30 就寝

②午後授業

- 8:00 起床&朝食
- 9:00 散歩かランニング
- 10:30 準備&昼食
- 12:00 出発
- 12:50 学校着

13:00 授業開始
17:15 授業終了
18:30 夕食（午後授業になってから1人で食べることがほとんどでした）
20:00 部屋でダラダラ
24:00 就寝

【休日（土曜日）】（とある1日）

9:00 起床＆朝ごはん
9:30 部屋の掃除（洗濯物は洗濯機＋乾燥機で2時間弱だったので、とりあえず洗濯機を回して掃除をします）
10:00 英語の勉強
12:00 出かける準備
13:00 出発（遊び）
17:00 帰宅（夕食までにシャワーを済ませる）
18:00 夕食
19:00 ホストファミリーと映画鑑賞
24:00 就寝



伝えたいこと

①治安

本当に日本と同じくらい良いです。向こうでの生活に慣れてくると、次第に帰るのが遅くなったりするのですが、夜遅い時間帯でも「危ない」「怖い」と感じることはありませんでした。夜のオークランドと、渋谷や新宿を比べるなら、全然渋谷新宿の方が人が多いし、活発です。（笑）しかし、生活に慣れてない最初のうちは早めに帰る方が安全です！

②体調管理

私は割と健康なのですが、オークランドに来て1週目で高熱を出しました。原因はよく分かりませんが、おそらく寒暖差によるものだと思います。日本が真夏の時期に、真冬のオークランドに行ったので、体が追いつか

なかった可能性があります。そこまで気を張る必要はありませんが、体調を崩しやすい方は防寒具や薬をしっかり用意していくことをお勧めします。私は寒がりということもありヒートテックや長袖は、留学期間中の8割は重宝していました。最後の3週間くらいは半袖を着ることもありましたが、最高でも28度くらいだったので、たくさん持っていく必要はないと思います。

③持ち物

荷物の重量制限が厳しく、特に帰国の際はお土産が加わるため、必要最低限の服や靴に抑えることをお勧めします。しかし思っているよりも寒いので、ヒートテックは1週間分かれ以上持っていく方がいいと思います。(私の場合3ヶ月半で着古して、何枚かは捨てて帰りました。) またシャンプーなどの日用品に関しては、現地調達も可能なので、こだわりがない方は、とりあえず1週間分使えるくらいの量の持っていくって、あとは現地で購入したものを使うでも十分だと思います。しかし洗顔や化粧水などの顔のスキンケアに関しては、自身が日本で使っているものを持っていくのが安心かと思います。というのも、シャンプーやトリートメントは、安く日本にあるようなものが買えますが、スキンケアに関しては、結構高かったり、よくわからないブランドのものが多いためです。なので3ヶ月半で使い切れる量のスキンケア用品を持っていくって、容器は捨てて帰るとというのが、1番良いのかなと思います。(捨てずとも、まだ帰国しない友達にあげることもありました。)

その他、私が持っていくって良かったなと思うものは、フェイスタオル、ビタミン剤、帽子、運動着です！フェイスタオルは、顔を洗う際や歯磨きの際に使っていました。バスタオルは用意してくれましたが、そういった小さめのタオルはホストファミリーと共有で使っていることが、多かったため、自分専用のがあって良かったなと思いました。ビタミン剤に関しては、やはり日本にいる時と比べて野菜を食べることが圧倒的に少なかったため、身体的にも、気持ち的な面でも、あって良かったなと感じています。帽子は、朝が早くて髪の毛をセットするのが面倒だった時に大活躍でした。また雨の日が多かったので、よく帽子を被っていました。運動着は、現地にいくつかジムがあるので、そういうところに行きたい方や休日にランニングなどをしたい方は持っていくことをお勧めします。現地でも簡易な運動着は買えますが、特段重いものでもないのに、自身のものを持っていくのが良いでしょう。

反対に持っていなくても良かったものは、大量の味噌汁です。意外に飲みませんでした。(笑) 普段から好んで味噌汁を飲む方は持っていくっていいと思いますが、そうでもない方は1週間分くらい持っていくって、たまに飲むくらいでもいいと思います。(私の友人は、持ってきてすぎて帰国直前に友人に配ってました。)

最後に

初めての海外、初めての留学の方は特に、「無事にやっていけるのかな」と不安に思うと思います。実際、20年間過ごした実家を離れ、見知らぬ土地で見知らぬ人と暮らすことは決して安易なものでも、楽しいことだけでもありませんでした。寂しいことも、無力に感じることもたくさんありましたが、長い人生における3ヶ月半は本当に一瞬であり、でも一生の思い出になったのではないかと感じています。そう思えたのは、後先考えずに、とりあえず行動してみたからだと思います。食べたことのない料理、行ったことのない場所、体験したことのないもの、話したことのない人、そういう全ての初めての、とりあえず触れてみることは、充実感や学びに繋がるだけでなく、その土地にいる自分の自信にも繋がります。そして、そういったチャレンジが安心して行えたのは、ニュージーランドという、温かい人と豊かな自然で溢れた素敵な国であったからだと思います。

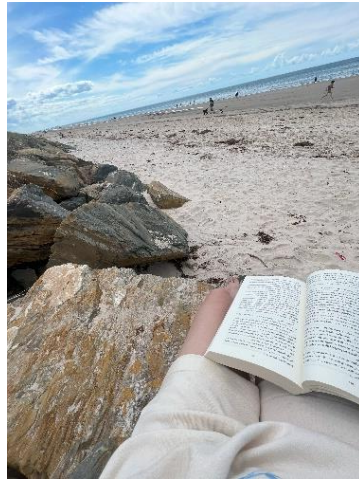
どんな土地へ留学をしても、ギャップというものは必ずあります。しかしそんなピンチを、逆にチャンスだと思えたら、勝ちです。ぜひピンチをチャンスに変えて、留学生活を思う存分楽しんでください！

2022年度派遣

派遣先：アデレード（オーストラリア）

私はSAを通して挑戦することへの躊躇を無くすことができました。元々、内向的な性格であった私は、普段から挑戦することに対し、様々なリスクなどを考えてしまったりする癖があり、機会を逃してしまうことも多々あったのですが、アデレードでの生活を通して「躊躇する必要はない」ということを肌で感じました。ELCでの授業においても英語で自分の意見を発信することであったり、現地の学生との関わりをつくる場面においても、自分から発言・行動しないことには何も始まらないので、時間が経過するにつれ、自分から積極的に発信するよう変化していきました。私は2年の秋学期に留学に行ったので、ゼミに入るのが他の同期よりも半年遅れての入りゼミだったのですが、それまでの自分だとしたらあり得ない二泊三日の冬合宿からの飛び入り参加をすることにしました（ビーチで教授と先輩方と連絡を取っていたのはいい思い出です（笑））。そのおかげもあり、二泊三日の中で同期とも仲良くなれました。

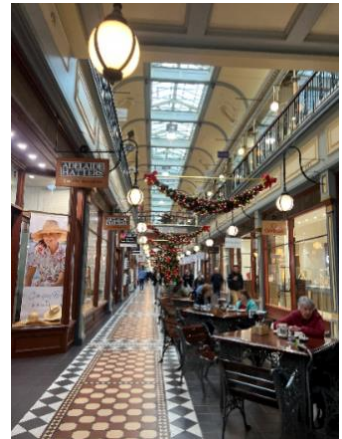
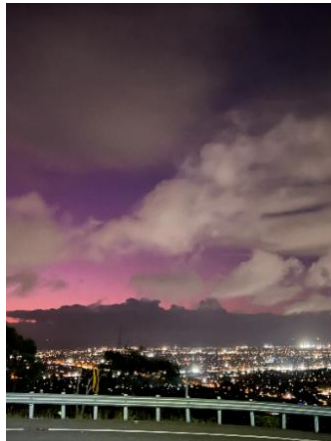
学習面では、私よりもはるかに英語力があるクラスメイト達のおかげで、毎日新しい言葉や表現を身に付けることができましたし、それを現地の学生やホストファミリーとの会話の中でアウトプットし、定着させることができました。ELCの先生方もとても親切でフレンドリーで、私は留学期間中、一番楽しかったのが授業だといえるほど楽しくて身になる授業でした。新しい言葉を正しく使えて、より精度の高い意思疎通ができた瞬間は鮮明に記憶に残っています。また、私は読書が好きなので、現地で日本の小説の英訳版を購入し、わからない表現があればホストファミリーに尋ねるということをしたり、英語のラジオを同じものを何度も聞いたりしていました。不思議と現地では全く苦ではなく、楽しみながら勉強をできました。帰国前には、現地の映画館で映画を見て十分に楽しめるようになっていました。



私のホストファミリーはとても親切で、優しい方々で、帰国し時間のたった今でも時々連絡を取っています。ホストファザーがよくアデレードの自然や生活を自慢してきます（笑）ホストファミリーが私の第二の両親・実家となりました。現地にいる間は週末にいろいろな場所に連れて行ってくれたり、テラスで一緒に読書しながらティータイムを過ごしたり、ほぼ毎日ドラマや映画と一緒に観たり、課題の添削までしてくれました。私の母や兄とも電話などで話してくれたりもして、とてもよくしてくださいました。私は休みは友達と遊びに

出かけたりするよりも、ホストファミリーと過ごしていました。オーストラリアの文化や食についても新しいことをたくさん教えてくれました。また、アデレードは平和で治安のいい街ですが、やはり夜は暗く、街灯も少なく日本と同じように危険があるので、バス停まで迎えに来てくれたり、送迎もするよといってくれていました。

英語力についてはもちろんのこと、現地の文化、生活、人間関係など、留学を通してでしか気づくことのできない部分がたくさんあったと感じています。自分自身の成長も身をもってこんなに感じられることはそうそうないと思います。現地の方に急に話しかけられても対応できたり、トラブルが起こってもその状況を自分の言葉で説明できたりした時の達成感、感動はとてもいい経験でした。現地でできた友達や受け入れてくれたホストファミリーは今では大切な存在となりました。アデレードの魅力も、日本を離れたからこそ感じられる日本の良さも、SAを通してたくさん感じられてとても良い時間を過ごせたと思います。



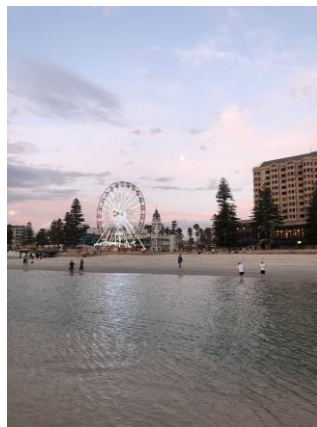
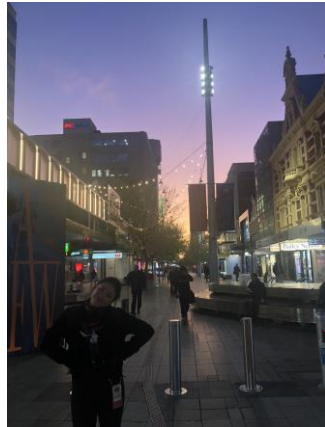
SA体験記④

2022年度派遣

派遣先：アデレード（オーストラリア）

■アデレードについて

私はオーストラリアのアデレードという都市に留学していました。アデレードはオーストラリアで5番目に大きな都市で豊かな自然と活気のあるシティが融合している素敵な場所でした。シドニーやメルボルンのような大都市と比較すると小ぢんまりしており、「シティ」と呼ばれる中心地も大都市と比較するとコンパクトにまとまっています。そのためSAでの短期間の滞在でもアデレードの街を隅々まで堪能することができました。また、アデレードでは通学中や移動中に野生のコアラやカンガルーを見ることができました。



■学校生活



授業はアデレード大学の語学学校「English Language Center」で学びました。特に印象に残っていることは、クラス内でペアを組んで最終週の授業で「世界的なセレブリティ」についてのプレゼンテーションを行ったことです。私のペアはフランスの社会人男性で年齢も国籍も全く異なる方だったので、お互いが共通して知っている「セレブリティ」を挙げるのに大変苦労しました。最終的には世界的に有名なフランス人のパティシエについてプレゼンすることに決め、発表に向けての準備を行いました。紹介する人が決まってからも、英語で意思疎通をしないとイケなくて、認識の齟齬がないようにすり合わせを徹底しました。念入りの準備の結果、先生から

高評価をもらうことができ、達成感と自分の成長を強く感じるとても良い経験でした。日本の大学では外国人とのペアワークをする機会がないので、留学に行って良かったと感じたことの一つになりました。

■食事

ホストファミリーがブリティッシュだったので、イギリスっぽい料理でした。



■クラブ活動



私はアデレード大学でクラブ活動に参加しました。毎週火曜日の授業終わりにアデレード大学の学生と交流でき、そのクラブがあったからこそアデレードで多くの友人ができ、充実した留学生活になりました。クラブ活動で仲良くなった友人が車で2時間かかるビーチまで釣りに連れて行ってくれたり、現地の美味しいお店に連れて行ってくれたり、お家に招待してもらってゲームを一緒にしたりと、彼らのおかげでとても良い思い出を作ることができました。日本に帰ってきても連絡を取り合う友人も多く、素敵な出会いに恵まれたことに幸せを感じました。

■ボランティア活動

年中でフェスティバルが多いアデレードで、私はフェスティバルボランティアを行いました。アデレードでボランティアを行うには警察署からの許可証と犯罪歴証明書を発行し提出する必要がありました。学校外の個人的な活動だったため、その手続きを自分で行った事が大変だったけれど、英語力を試す良い機会でした。もちろん学校の事務の方や現地の友人にも支援していただきました。フェスティバルボランティアでは、案内係や会場管理、展示説明などを行いました。現地の小学生ぐらいの子供から高齢の方まで、普段の大学生活では関わる事のない多くの人と交流する事ができました。また、ボランティアで知り合った韓国人留学生と共通の趣味を持っている事が判明し、ボランティア後もご飯に行ったり、お家に連れて行ってもらったり、とても素敵な縁に恵まれました。日本に帰ってきても趣味関連のやり取りをしており、韓国に訪れた際は会う予定です。証明書の発行など煩わしい手続きで諦めようかと思いましたが諦めず、参加して良かったと思っています。



■ブレイクウィーク

ブレイクウィークは法政の学生七人で「メルボルン」「ゴールドコースト」、個人的な旅行で「シドニー」に行きました。それぞれ違った魅力があつてとても楽しい旅行でした。日本にいとオーストラリアの数カ所旅することはあまりないので、留学に訪れた際は是非たくさん旅行してオーストラリアの文化や歴史に触れてみてください。



■最後に

留学に興味があるけど、経済面や生活面、英語面など様々な不安があつて踏み出せない方もいらっしゃると思います。私も英語は全然得意では無かったし、母親からの反対もありました。しかし、大学生時代は一番時間があつて自由でしたい事がなんでもできる時期だと思います。私は留学に行って、たった半年だけでしたが、日本で授業を受けていただけでは得る事のできない代え難いものをたくさん学び得る事ができました。ホストファミリーとの確執や慣れない環境でストレスを抱えるなど、留学のすべてがうまくいっていたとは言い切れませんが、それでも行って良かったと思います。新しいことに挑戦することは勇気がいるし簡単なことではないかと思いますが、その分得られるものは本当に多いです。大学からの金銭的支援もあるところもSAの魅力の一つです。法政大学が与えてくれたこの機会をぜひ有意義に使ってほしいと思います。最後までご高覧いただきありがとうございました。

SA体験記⑤

2024年度派遣

派遣先：アデレード（オーストラリア）

■始めに

初めまして。これからアデレードへ行く皆さんは期待や不安さまざまな思いで過ごしていらっしゃると思います。皆さんには、不安を少しでも減らし留学生生活を満喫してほしいので、ひと足先にアデレード生活を経験した私から、現地での生活についてお伝えしたいと思います！

■学校生活

皆さんがまず不安に思うのは、学校生活ではないでしょうか。日本でレベル分けテストを実施し、その結果に合わせて現地の英語のクラスが決まります。自分のレベルが心配になったり、友達とバラバラになってしまったり、不安がたくさんあると思いますが、一度授業に入ってしまうえば楽しい時間が待っています！担当の先生はクラスのレベルに合わせたスピード、単語レベルで話してくれます。クラスによりますが、10～20人ほどのクラス(初めのタームはもう少し多いかもしれません)なので1人1人に寄り添い丁寧な授業を展開してくれます。また、座学だけでなく、グループに分かれてゲームをしたり、公園や街に出てフィールドワークをしたり、最後の週にはお菓子パーティーや劇、カラオケ大会など日本では体験できないようなワクワクする授業がたくさんあります！

日本人学生の割合ですが、最初のタームは日本が夏休みのため、日本人学生がほとんどでした。私のクラスは8割日本人、2割外国籍の学生といった割合でした。次のタームからは日本人が減り、外国籍の学生が増え、最終的には5:5くらいだったと思います！



ポスター発表



クラス写真



クラスで行った劇

学校には学生が参加できる様々なイベントがあり、オーストラリアや、大学について知る機会になったり、現地やほかの国の学生と仲良くなれるチャンスなのでぜひ参加してみてください！

■通学方法

ほとんどの方がバス通学だと思います。アデレードのバスは日本とは違い、次のバス停のアナウンスをしてくれないので、常に外とGoogleマップを見ていないと乗り過ごします！また、Googleマップのみだと正確なバスの時間が分からなかったりするので「NextThere」というオレンジ色のアプリでアデレードのバス表見れるので

2つ使いがおすすめです！

■ホリデー

タームの間に2週間のホリデーがあります！この期間中に、オーストラリア国内の旅行や、ホストファミリーと過ごす時間を作れます。私は、友人と遊んだり、ホストファミリーとさまざまなアクティビティをして過ごしました！



現地の友人とビリヤード



カヌー



動物園



クリスマスイベント

■気候(服装など)

思っていたより寒いです！寒がりの方は、コートやヒートテックを持って行った方が最初のうちは安心だと思います！八月は、コート、ニット、ヒートテックを着ても寒い日がありました。夏は暑くなる日もありますが、バスや学校は冷房が強いので、私は半そでにパーカーを羽織っていました。

■ホストファミリー

最初に知っておいてほしいのですが、ファミリーによって暮らし方や、考え方が違うので、あくまでも私のファミリーはこうでした！というのを紹介したいと思います。

私のホストファミリーはブリティッシュ系のご夫婦でした。そのためご飯もイギリスっぽかったです。とても丁寧で優しい方々で、夜には一緒に映画やドラマを見たり、今までにきた留学生の写真や、お子さんの写真をみせてくれ、たくさんお話しすることができました。また、休日には車でビーチに行ってお散歩をしたり、近くのナショナルパークに行って野生のカンガルーやコアラを探したり、カヌーに連れて行ってくれたり、オーストラリアらしい様々な体験をさせてもらいました。友人と過ごす時間も楽しいですが、ファミリーと過ごす時間も同じくらいワクワクする時間でした！私の家にはもう一人、東ティモールからの留学生が来ており、3か月ほど一緒に過ごしました。一緒に登下校をしたり、学校帰りに植物園やショッピングモールによって帰るなどお姉ちゃんができたと感じる感覚でとてもうれしかったです。



■おすすめ

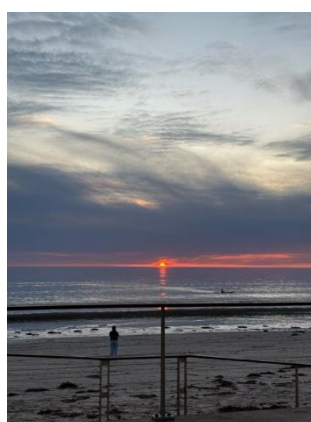
ここではアデレードで是非、やってほしいことについて紹介しようと思います！

【自然】

アデレードには広大な自然がたくさんあります。少しバスに乗れば、滝やビーチ、野生のカンガルーやコアラに出会えます。日本では体験できないような自然がすぐ近くにあるので是非探してみてください！

- ・ Hallett Cove Boardwalk
- ・ Henley Beach
- ・ The Adelaide Dolphin Sanctuary

上の2つは市内からバスや電車で行けるので学校の後にも気軽に散歩できます！



【ジェラート】

オーストラリアではジェラートがとても人気です！アデレードにもジェラート屋さんがたくさんあり、冬でも列ができる店もあります。また、夜までやってる店がほとんどなので学校終わりに行くことも可能です。特にビーチの近くに多く店があり、海を見ながら食べるジェラートはとてもおいしいです！

- ・ MESSINA

オーストラリアと香港にのみ店舗があり、私が食べた中で一番おいしかったのが、メッシーナでした！様々なフレーバーがあり、毎週変わるフレーバーが4種類もあるのでいつ行っても楽しめます！また、味見が何度でもできるのでお気に入りのジェラートを見つけてオーダーしてみてください。



■最後に

ここまで読んでくださりありがとうございます！これを読んで少しでも皆さんがアデレードでの生活が楽しみになってくれたらとてもうれしいです。アデレードでの経験がどのようなものになるのかは皆さん次第です！ぜひ、思い切って一步踏み出し、最高の思い出を作ってください！